

FUKUDA

オイル配送システム

ボルボ系が導入

残量をメール通知

エンジンオイル卸のFUKUDA（京都市山科区）は、オイルを効率的に管理する同社の配送システムがボルボ・カー・ジャパン（東京）の全店で採用されたと発表した。今後は連携してシステムの改良を進める。



FUKUDAのエンジンオイル配送システムを導入したタンク。上部にセンサーを取り付けている

オイルの残量を常時監視し、事前に設定した残量を下回るとメールで通知する。人工知能が使用データに基づき、オイルがなくなるタイミングも予測し、目安

として顧客に示す。自動車ディーラーや修理工場が進む省人化に対応するためFUKUDAが開発し、2018年に販売を始めた。オイル以外の自動車関連分野にも利用が拡大している。同社の仕入れ先で、ボルボと取引しているエンジンオイルメーカー、BPカストロール

（東京）の協力でシステムの導入が実現した。今後は3社で協力の構築も目指す。

（笹井勇佑）

株式会社 FUKUDA 様

第4回知恵ビジネスプランコンテスト認定・第1回知恵-1グランプリ受賞

令和4年12月16日 京都新聞朝刊